

平成29年度研究開発学校研究協議会 (第14回研究開発フォーラム)

平成30年1月12日（金）

北海道鹿追高等学校 鹿追町立鹿追小学校 鹿追町立瓜幕小学校
鹿追町立通明小学校 鹿追町立上幌内小学校 鹿追町立笹川小学校
鹿追町立鹿追中学校 鹿追町立瓜幕中学校
鹿追町立認定こども園しかおい

平成27年度～平成29年度研究指定

【研究開発課題】

幼小中高13年間を見通した、グローバル社会に対応した新設教科「地球コミュニケーション」と「新地球学」のカリキュラム開発

～21世紀を生き抜く汎用的な資質や能力を持つ人材の育成～

5期15年にわたる研究開発

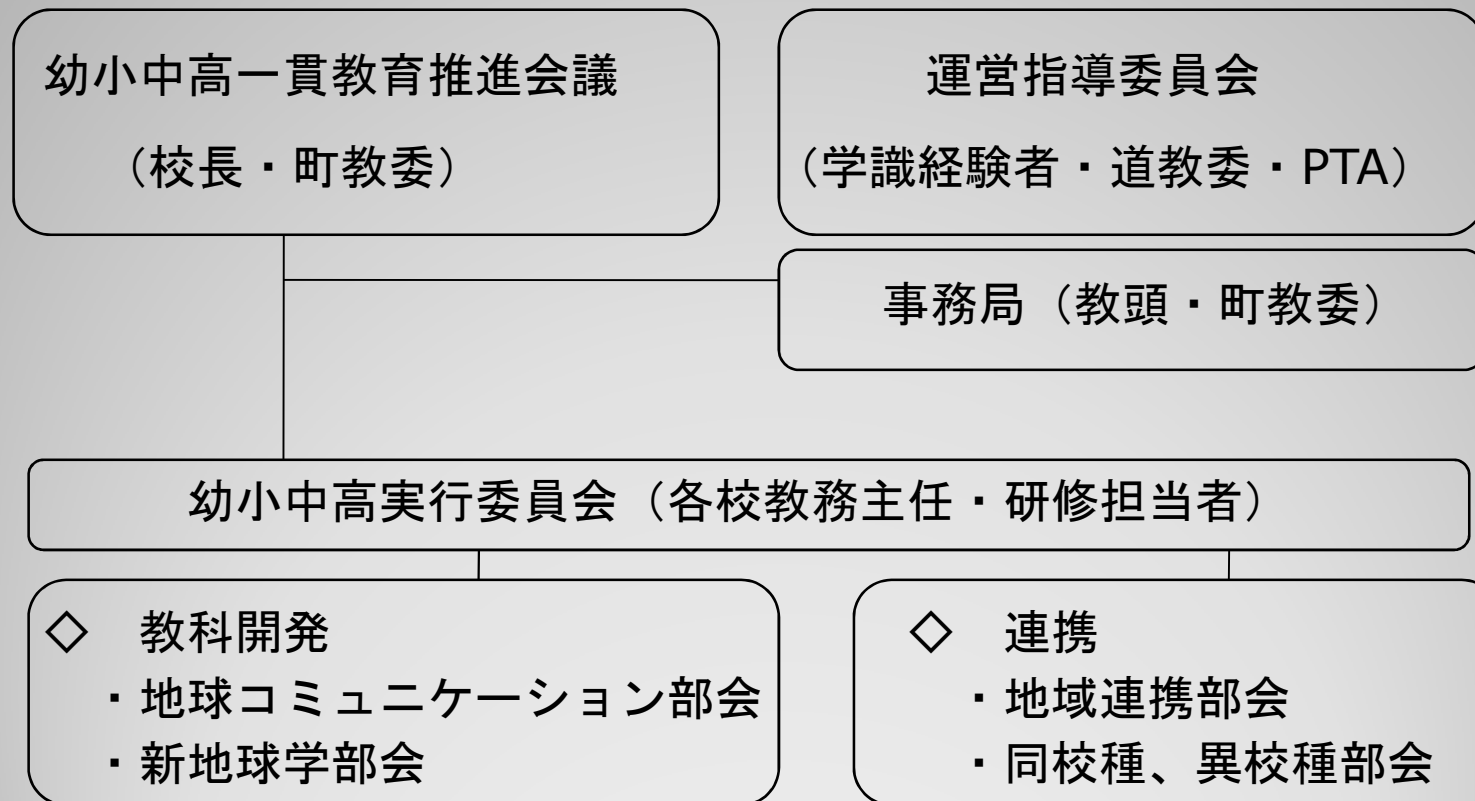
	内 容
第 1 期 (H15～H17)	<p>【研究テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとに学び、世界に学び、未来を切り拓く教育課程の創造 ～小中高連携による新しい教育課程の創造～ <p>【研究目的など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カナダ学：小中高一貫した英語と国際理解を関連させた新設教科 ・しかおい学：ふるさと鹿追とカナダ・国際理解教育 ・BS英語、BS数学：中高の関連を図る教科開発
第 2 期 (H18～H20)	<p>【研究テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとに学び、世界に学び、未来を切り拓く児童・生徒の育成 ～小中高連携による新しい教育課程の創造～ <p>【研究目的など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カナダ研究：英語を通じて言語や文化に対する理解を一層深め、実践的コミュニケーション能力を育成 ・小中高の教育課程の系統性や一貫性の研究
第 3 期 (H21～H23)	<p>【研究テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとに学び、世界に学び、未来を切り拓く児童・生徒の育成 ～小中高連携による新しい教育課程の創造～ <p>【研究目的など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境教育関係：環境問題の解決を目的に、地球市民の育成を図るために小中高連携した「地球学」教育プログラム開発（「地球学」「実社会数学」） ・英語教育関係：実践的コミュニケーション能力の一層の伸長を図るために、発達段階の課題に配慮した小中高における英語教育の在り方（「カナダ研究」）

5期15年にわたる研究開発

	内 容
第 4 期 (H15～H17)	<p>【研究テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none">・ふるさとに学び、世界に学び、未来を切り拓く児童・生徒の育成 ～小中高連携による新しい教育課程の創造～ <p>【研究目的など】</p> <ul style="list-style-type: none">・新地球学：環境リテラシーを身につけ、環境問題の解決を図ろうとする生徒を育成するための教育プログラムの開発・カナダ研究：「新地球学」で学ぶ環境問題や防災教育等で探求的な活動に、英語を活用した取組を取り入れ、「カナダ学」と「新地球学」の関係性を深める教育プログラム。
第 5 期 (H18～H20)	<p>【研究テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none">・幼小中高13年を見通した、グローバル社会に対応した新設教科「地球コミュニケーション」と新地球学のカリキュラムの開発 ～21世紀を生き抜く汎用的な資質や能力を持つ人材の育成～ <p>【研究目的など】</p> <ul style="list-style-type: none">・地球コミュニケーション：英語を中心にした多様なコミュニケーション能力の向上・新地球学：汎用性の高い環境教育プログラム

平成27年度からの研究開発

1 研究開発のための組織



平成27年度からの研究開発

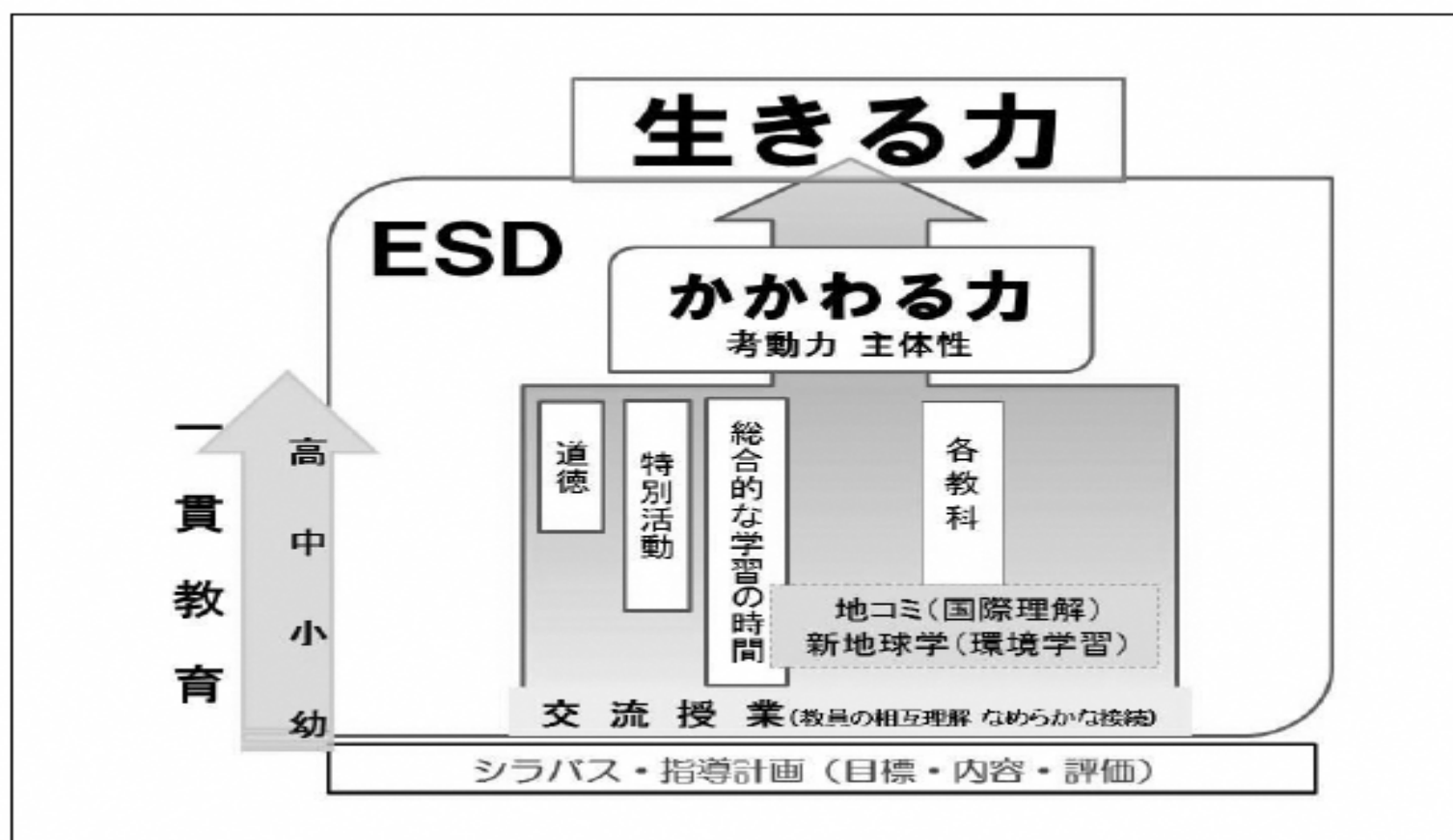
2 研究仮説

身に付けさせたい資質・能力の全体像を明確にし、ESDの考え方に基づいた新設教科「新地球学」について、他教科と関連付けながら系統立った指導を行うことで持続可能な社会づくりのための資質・能力を身に付けることができる。

また、英語を中核とした新設教科「地球コミュニケーション」において、幼小中高のカリキュラムの区切りを1-4-4-4として指導を重ねることにより、グローバル社会に対応した資質・能力を身に付けることができる。

平成27年度からの研究開発

3 研究の概念図



平成27年度からの研究開発

4 各教科の目標

◆ 地球コミュニケーション（幼小中高）

21世紀の国際社会に貢献し、これからの社会を担う人材の育成を図るため、国際理解教育を推進し、他国の文化を尊重するとともに、我が国の文化や郷土を愛する態度を養う。また、外国語によるコミュニケーション能力の育成に努めることによって、異文化理解を深め、交流に資する力を身につける。

平成27年度からの研究開発

◆ 新地球学（小中高）

身近な地域の自然や環境、防災、国際理解、エネルギー、文化などに関心をもち、自らの興味・関心を高め、具体的な活動や体験を通して自然の豊かさなどに気づき、自らの生活について考えさせるとともに、主体的に問題を解決する資質や能力を育成し、自然や人とのかかわり、地域の良さ、様々な場面で発生する災害の危険性や防災、環境を保全するための知識を身につけ、状況に応じた行動や環境保全のために主体的にかかわる態度を育て、自己の生き方を考えることができる。

平成27年度からの研究開発

5 平成27年度の研究の経過

- (1) 全体研修会 平成27年4月28日
- (2) 第1回運営指導委員会 平成27年6月23日
公開授業 ○地球コミュニケーション（通明小・鹿追中）
○新地球学（鹿追小・笹川小・鹿追中）
- (3) 研究大会 平成27年9月15日
公開授業 ○地球コミュニケーション
（幼小交流・笹川小・中高交流）
○新地球学（鹿追小・通明小・瓜幕中）
- (4) 第2回運営指導委員会 平成28年2月2日
公開授業 ○地球コミュニケーション
（瓜幕小、上幌内小交流・瓜幕中）
○新地球学（瓜幕小、上幌内小交流・瓜幕中・鹿追高）

平成27年度からの研究開発

5 平成28年度の研究の経過

- (1) 全体研修会 平成28年4月28日
- (2) 第1回運営指導委員会 平成28年6月28日
公開授業 ○地球コミュニケーション（笹川小、上幌内小交流・鹿追中・鹿追高）
○新地球学（鹿追小・通明小・鹿追中）
- (3) 研究大会 平成28年9月15日
公開授業 ○地球コミュニケーション（幼小交流・中高連携）
○新地球学（鹿追小・笹川小・鹿追中・鹿追高）
- (4) 研究開発学校実地調査 平成28年11月23日
○地球コミュニケーション（小中交流・中高交流）
○新地球学（鹿追小・鹿追中・鹿追高）
- (5) 第2回運営指導委員会 平成29年1月31日
公開授業 ○地球コミュニケーション（小中交流・鹿追高）
○新地球学（瓜幕小・瓜幕中）

平成27年度からの研究開発

5 平成29年度の研究の経過

- (1) 全体研修会 平成29年4月21日
- (2) 第1回運営指導委員会 平成28年6月27日
公開授業 ○地球コミュニケーション
(小中交流・鹿追高)
○新地球学 (鹿追小・笹川小・通明小・鹿追中・鹿追高)
- (3) 研究大会 平成29年9月15日
公開授業 ○地球コミュニケーション (幼小交流・中高連携)
○新地球学 (鹿追小・上幌内小・瓜幕小・瓜幕中・鹿追高)
- (4) 第2回運営指導委員会 平成30年2月6日 (予定)

地球コミュニケーション

- 資料 1 「年間指導計画」
- 資料 2 「CAN-DO LIST」
- 資料 3 「学習指導案」 (単元の指導案、本時の展開)



【高校 2 年生 中学 3 年生の様子】

今年度の公開授業で扱った内容

- (1)小中交流（小学校5年生・中学校1年生）
「学校での生活：自分たちの好きな教科の人気を調べよう」
【Do you like~? X people like~.】
- (2)高校3年（世界の農業、食、文化）
新地球学で交流したJICA職員の出身の国
(アフガニスタン・カンボジア・マラウイ・パキスタン・ベトナム)
と関連させながら。
【A produces~% more than B】

高校3年生の地球コミュニケーションの授業の様子



新地球学での授業 ➡ 関連する国の農業・食について

新地球学

- 資料 4 「年間指導計画」
- 資料 5 「評価規準」
- 資料 6 「学習指導案」（単元の指導計画・本時案）
- 資料 7 「ルーブリック評価」



【小学校 3 年生の様子】

今年度の公開授業で扱った内容（例）

(1) 小学校 3 年生 「防災について知ろう」
【非常用持ちだし袋の中身を考えさせる】

(2) 中学 2 年生
「地域の未来のために持続可能な地域づくり
～私たちの提案」
【鹿追町の魅力を活かしたまちづくりの提案】

アンケート結果について

次のスライドからのアンケートは次のとおり実施し、集計しています。

- 1 実施期間 平成29年11月16日（木）～22日（水）
- 2 回収枚数

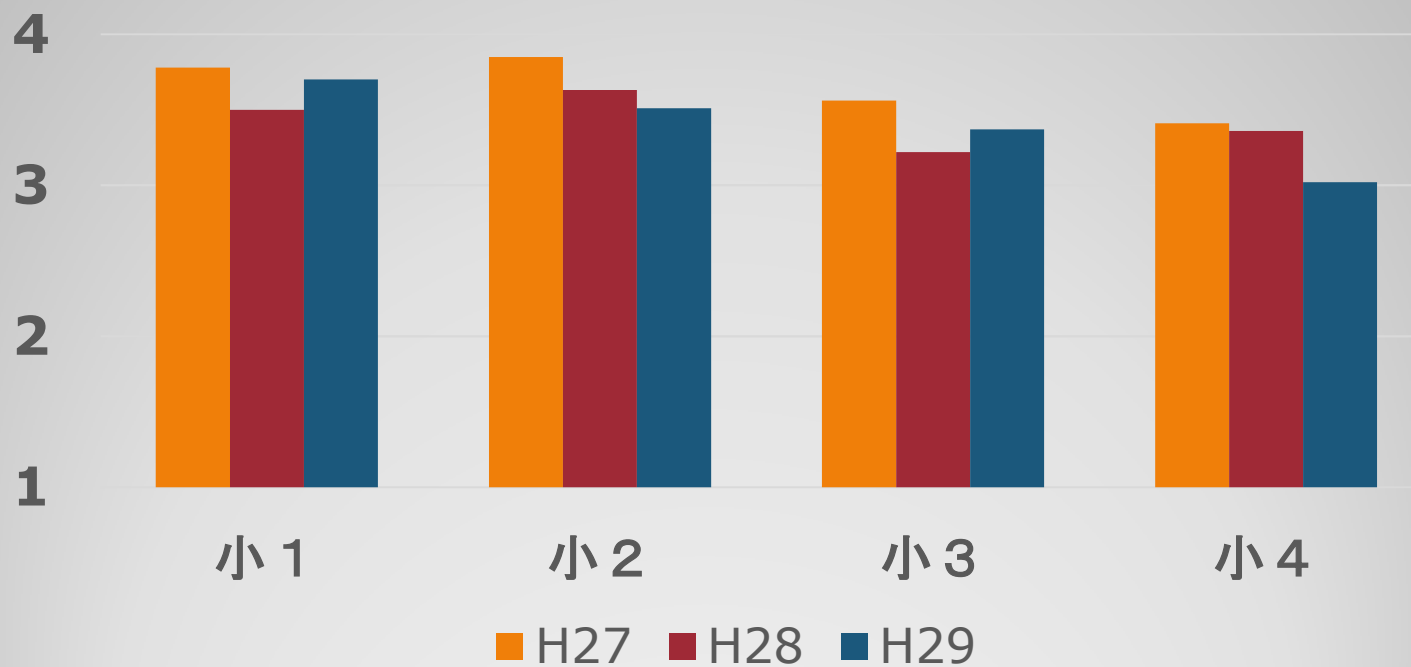
	こども園	小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年
児童・生徒	—	44	47	45	46	55	57	53	57	49	58	73	60
保護者		88						111			107		
教職員		36						25			20		

- 3 評点は4段階で、肯定的回答4、否定的回答を1として、平均にしたもの

生徒への効果について

【地球コミュニケーション】

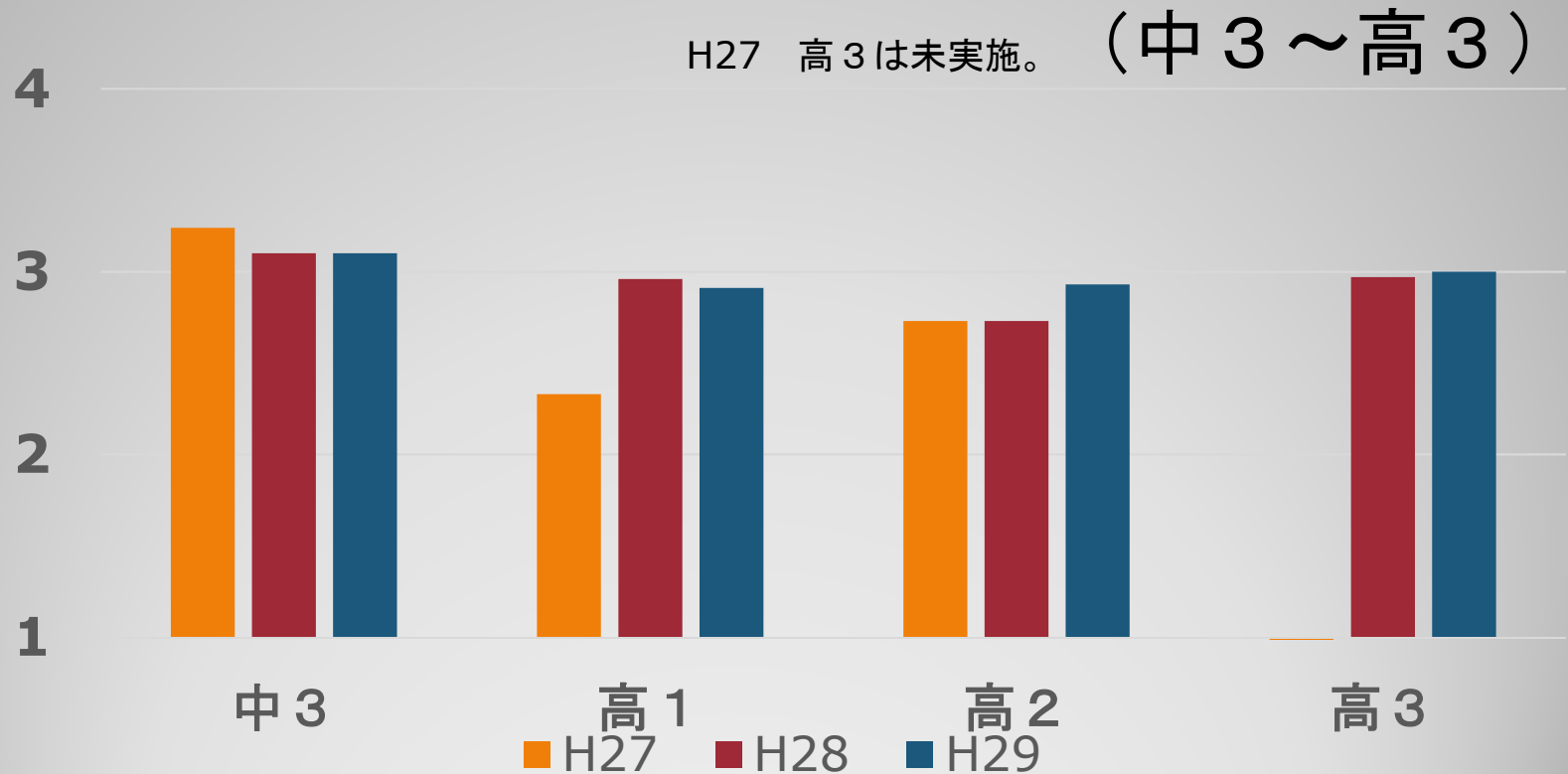
○ 楽しく活動に取り組むことができたか。（小1～小4）



生徒への効果について

【新地球学】

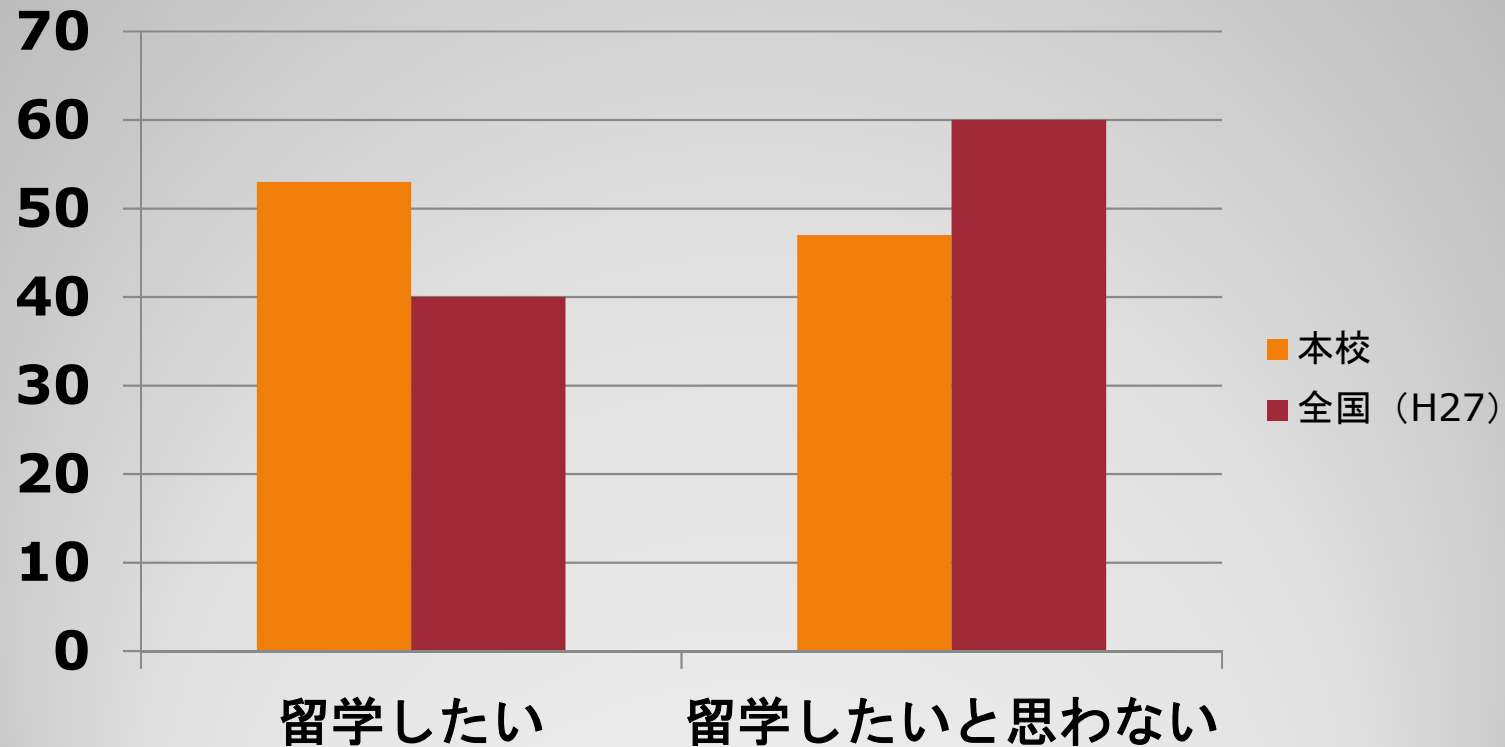
- 友達の発表やグループで学習するときに、積極的に質問して解決しようとしたか。



生徒への効果について

高校生の留学に関する意識（平成28年度高校生の留学に関する意識調査より）

○ 外国に留学したいと思いますか。

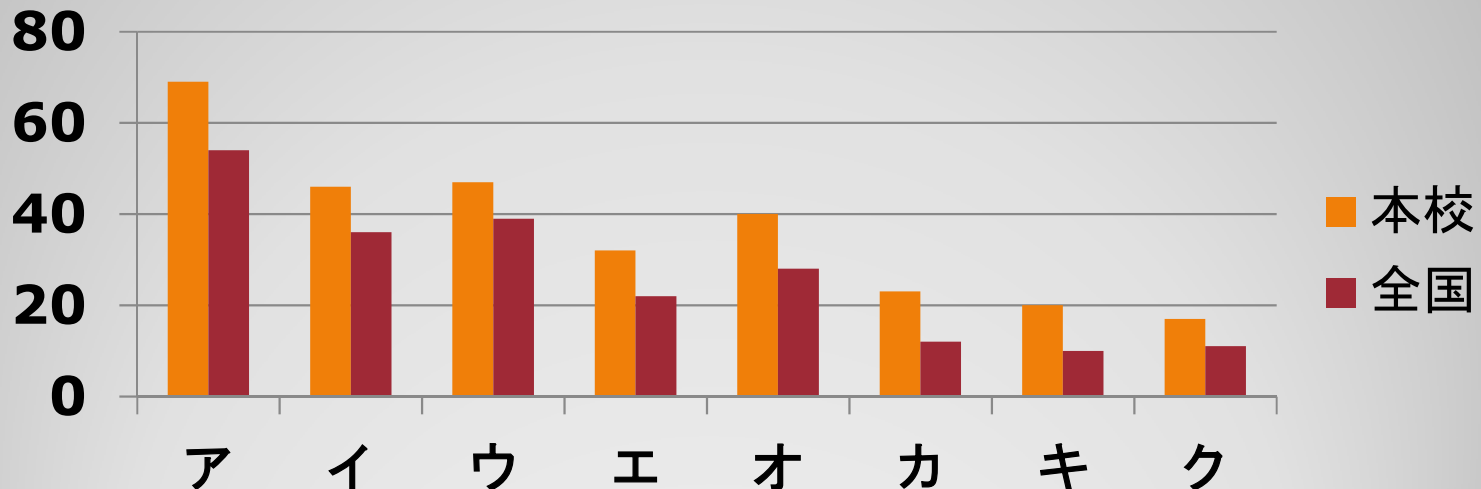


生徒への効果について

高校生の留学に関する意識（平成28年度高校生の留学に関する意識調査より）

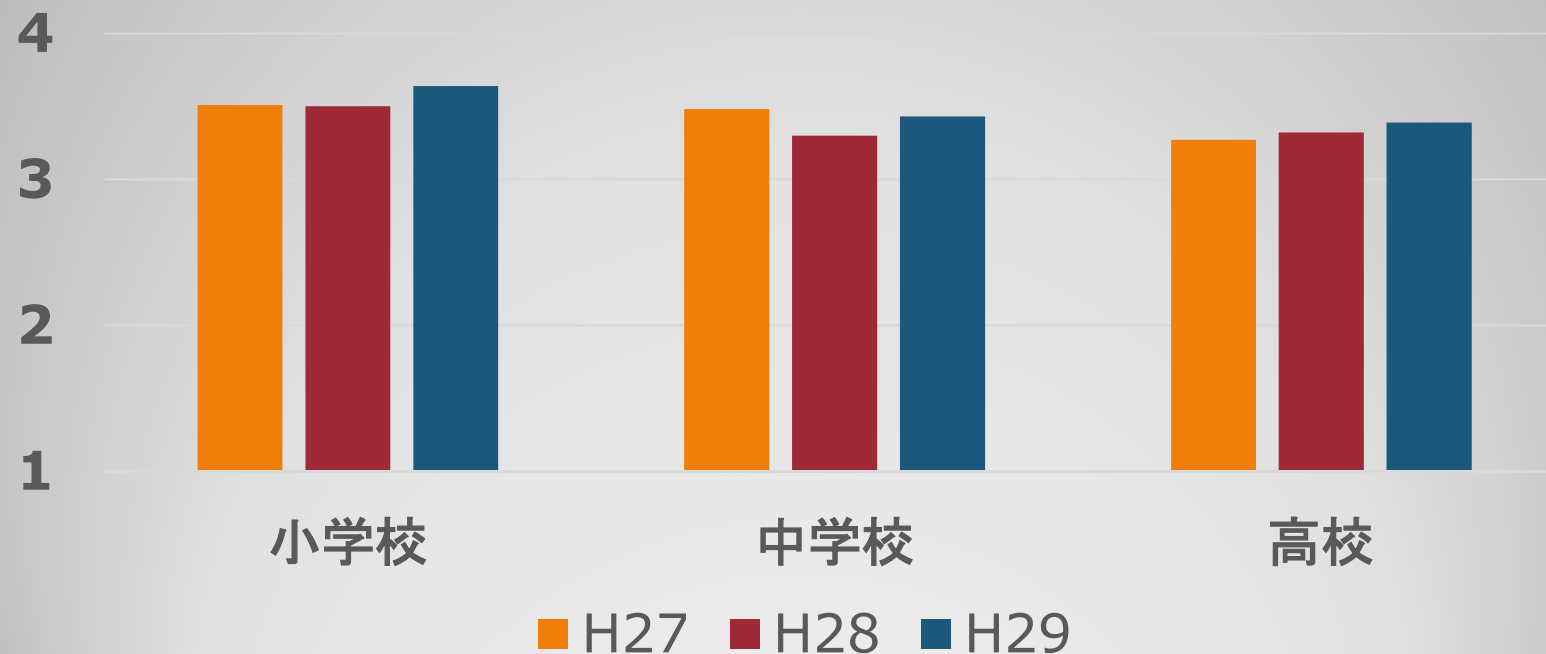
○ 留学する場合の理由は何ですか。※複数回答可としているため100%を上回る。

- | | | | |
|---|------------------------|---|------------------|
| ア | 語学力を向上させたい | イ | 外国の人と友達になりたい |
| ウ | 外国の文化、スポーツ、歴史、自然等に触れたい | エ | 外国での生活や勉強に関心がある |
| オ | 新しいことに挑戦したい | カ | 国際関係の学問や職業に関心がある |
| キ | 大学受験や就職に有利 | ク | 進路を考えるきっかけにしたい |



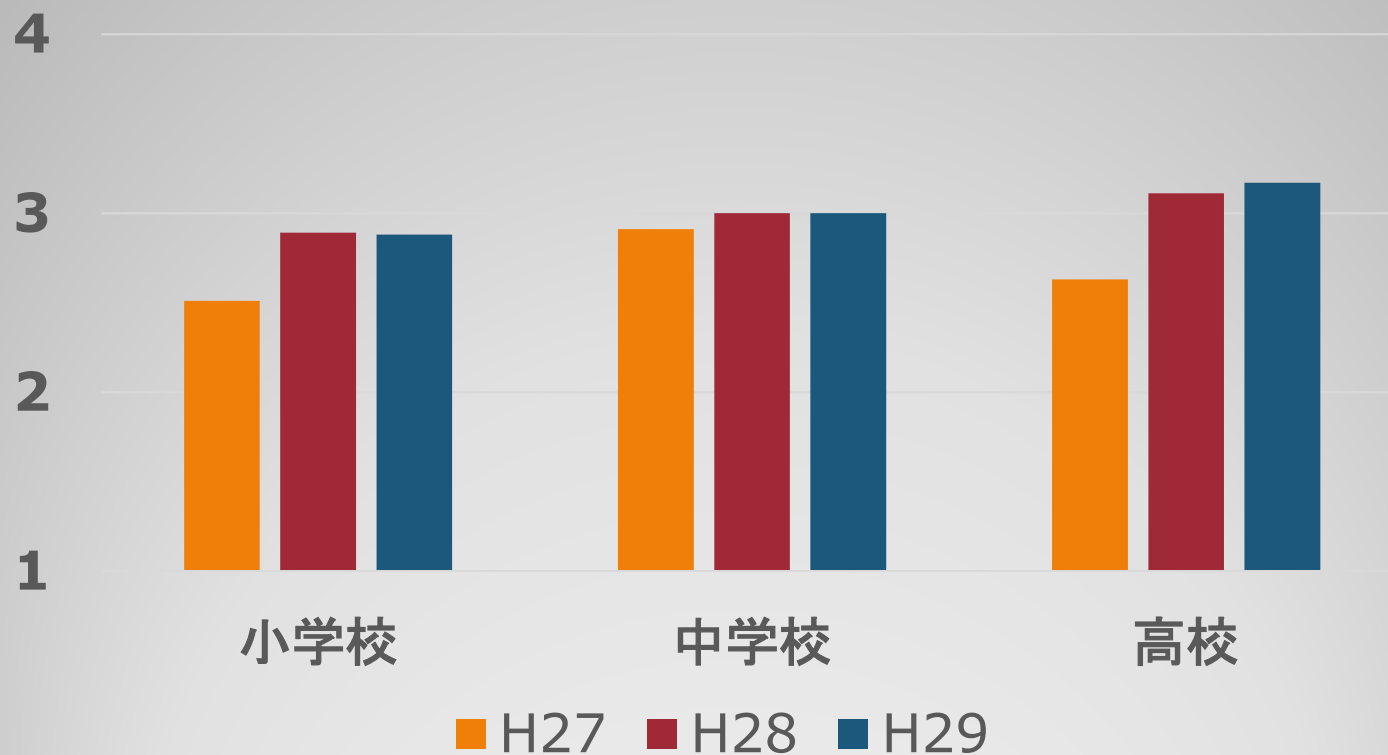
保護者への効果について

- 鹿追町では、地域の体験活動を低学年から行い、身近な地域や環境に関する学習を重ね、環境保全のために、積極的にかかわる力を身につけ、住み良い未来づくりのために実践する人づくりに取り組んでいます。この教科について、お子様の様子を見て良いことだとお考えになりますか。



教職員への効果について

○ ESDに関する考え方を理解している。



教職員への効果について

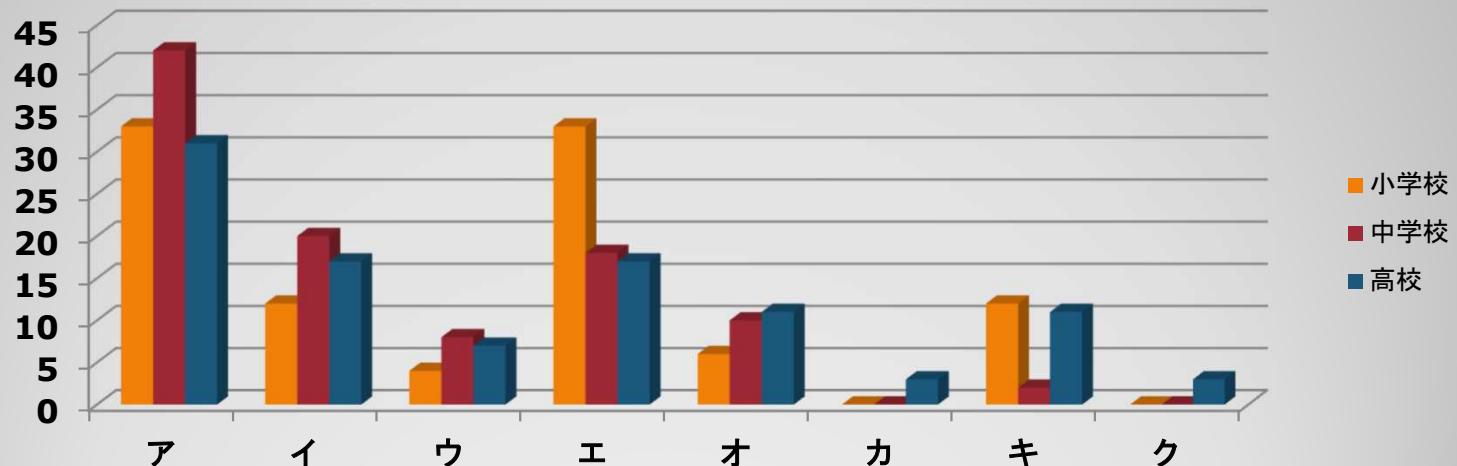
○ 一貫教育を効果的にするために、今後も必要なことはどのようなことだと考えますか。

ア：系統性のある教育課程 イ 授業や部活動の交流

ウ：乗り入れ授業 エ：異校種間の教職員研修

オ：一貫したキャリア教育 カ：経済的支援 ク：その他

(単位は%)



今後の課題について

- 1 研究教科を今後も生かし、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の取組
- 2 自立的な人格の形成を目指した21世紀を生き抜くために必要な汎用的な資質・能力を身につけさせる指導と評価の確立
- 3 「新地球学」においては、積極的に考え、地域や社会と関わる（考動力）の向上にむけた授業実践
- 4 「地球コミュニケーション」においては、カリキュラムや評価の小学校第3・4学年の外国語活動、第5・6学年の外国語（英語）への接続
- 5 「新地球学」、「地球コミュニケーション」でのタブレット端末の効果的な活用方法の確立
- 6 作成した教科書の電子化

ご清聴ありがとうございました。